

平成 17 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 高木 繁雄
コード番号 8 3 7 7
東証第一部、札証
問合せ先 企画グループマネージャー 庵 栄伸
TEL 0 7 6 - 4 2 3 - 7 3 3 1

平成 17 年 3 月期（第 2 期）配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 3 月期末の 1 株当たり配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせします。

記

1. 配当予想修正の理由

当社は、昨年 9 月に株式会社北海道銀行と経営統合し、新たな広域地域金融グループとして改めて経営健全化計画を策定し、経営の強化を図ってまいりました。その結果、平成 17 年 3 月期の業績は、昨年 11 月に公表したものを上回る実績を確保する見通しでございます。

当社の配当方針は、長期にわたる安定的な経営基盤を確保するため内部留保の蓄積に意を用いつつ、安定的な配当を実施することでありますが、この業績見通しを踏まえて、株主の皆様のご支援にお応えするため、従来普通株式 1 株について最低 1 円以上としておりましたが、今般 1.5 円の配当として来る定時株主総会にお諮りすることといたしました。

2. 修正の内容

| | 期 末 | 年 間 |
|-------------------------|-------|-------|
| 前回予想（平成 16 年 11 月 26 日） | 1 円以上 | 1 円以上 |
| 今回修正予想 | 1.5 円 | 1.5 円 |
| （ご参考）前期の 1 株当たり配当金 | 1 円 | 1 円 |

注）・普通株式に関する中間配当は実施しておりません。

・優先株式については所定の配当を予定しております。

(ご参考)平成17年3月期業績見通し

(1) 二行合算(北陸銀行+北海道銀行)

当社の主要な子会社である2銀行合算の当期業績見通しは次の通りであります。

(単位:億円)

| | 経常収益 | コア業務純益 | 経常利益 | 当期利益 |
|-----------|-------|--------|------|------|
| 前回発表予想(A) | 2,050 | 830 | 290 | 145 |
| 業績見通し(B) | 2,150 | 850 | 340 | 150 |
| 増減額(B-A) | 100 | 20 | 50 | 5 |
| 増減率(%) | 4.8 | 2.4 | 17.2 | 3.4 |

当期におきましては、企業向け貸出需要は依然弱含みで推移したものの、個人ローンの増強、投資信託をはじめとした預り資産の増加による役務収益の増加、あるいはデリバティブ関連商品の浸透等によって、経常収益は予想を上回る水準にございます。また、経費面につきましても、経営統合に要した費用負担が発生したものの、統合による合理化施策の展開等によって、経費全体の圧縮を行ってまいりました。この結果、銀行の本業の成果を示しますコア業務純益は、当初予想を上回る実績となる見通しでございます。

不良債権処理につきましても、新規発生の減少あるいは企業再生の進展も見られる一方、経営統合初年度として自己査定や償却・引当の基準統一を実施し、両行とも追加の予防的措置を行ったほか、大規模なバルクセールも実施し処理を促進したことから、計画を若干上回る処理額となる見通しであります。コア業務純益、有価証券の損益等も加えた経常利益では平成4年度以降での最高水準を見込んでおります。

(2) 当期の連結業績予想数値

上記の二行合算の見込みを踏まえ、昨年9月の経営統合以降の北海道銀行の収益・利益を連結した当社の連結業績予想は以下の通りであります。

(単位:億円)

| | 経常収益 | 経常利益 | 当期利益 |
|-----------|-------|------|------|
| 前回発表予想(A) | 1,900 | 210 | 100 |
| 業績見通し(B) | 2,030 | 270 | 110 |
| 増減額(B-A) | 130 | 60 | 10 |
| 増減率(%) | 6.8 | 28.5 | 10.0 |

注)北海道銀行の収益・利益は平成16年9月1日以降分を連結

本資料に記載した業績予想は、平成17年5月13日現在の概数による予想値です。このため、今後の決算確定までに変動する可能性があります。

以上